

口永良部島の噴火状況等について(第4報)

※ これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※ 下線部は、前回からの変更箇所。

平成26年8月6日
22時00分現在
内閣府

1. 火山活動の状況(気象庁情報:8月6日16:00現在)

(1)これまでの状況

8月3日12時24分に、口永良部島(鹿児島県屋久島町)新岳付近で噴火が発生。遠望カメラでは、灰色の噴煙が火口縁上800m以上上がった。(噴火が発生したのは1980年9月以来)

これを受け、気象庁は3日12時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベル1(平常)から3(入山規制)に引き上げた。(口永良部島で噴火警戒レベルを3に引き上げたのは平成20年(2008年)10月27日以来)

口永良部島上空からの観測からは、主に新岳の西側に降灰の痕跡を確認。

新岳火口縁の南西側に8月3日の噴火に伴う新たな割れ目および、新岳火口の北側の一部がわずかに広がっていることを確認。

遠望カメラでの観測では、白色の噴煙が火口縁上800mまで上昇(8月6日)。

火山性地震は5日以降やや多い状態で経過。

地殻変動観測では、特段の変化なし。

3日の噴火以降、地震計や空振計の観測から噴火は発生していないと考えられる。

(2)今後の見通し

火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要。

また、火砕サージに注意が必要。

降雨時には土石流に注意が必要。

2. 人的・住家被害の状況(消防庁調べ:8月6日20:00現在)

(1)人的被害

被害情報なし

(2)住家被害

被害情報なし

3. 避難の状況等(消防庁調べ:8月6日20:00現在)

(1)避難指示・勧告等

屋久島町が避難準備情報発令【77世帯135名】(8月3日13:00)

(2)避難状況

○島内残留者:5つの集落に42名が残留(うち3名は島内自主避難)

○島外自主避難:64名

4. 政府の主な対応

(1)関係省庁災害警戒会議等の開催

- ・古屋内閣府特命担当大臣(防災)、松本内閣府大臣政務官出席のもと、関係省庁災害警戒会議を開催し、今後の活動の見通し及び各省庁の対応状況について情報共有を行った(8月4日10:30)。

(2)各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・情報連絡室を設置(8月3日 12:50)

②気象庁の対応

- ・火口周辺警報を発表。噴火警戒レベルを1(平常)から3(入山規制)に引き上げ。
(8月3日 12:50)
- ・火山の状況に関する解説情報を発表(第1号～第5号)
(8月3日 14:30、8月3日 20:00、8月4日 16:00、8月5日 16:00、8月6日 16:00)
- ・機動調査班が上空から調査を実施。(8月5日、6日)

③文部科学省の対応

- ・鹿児島県教育委員会に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(8月4日)

(3)関係地方自治体の対応

①鹿児島県の対応

- ・災害警戒本部を設置(8月3日 13:30)

②屋久島町の対応

- ・災害対策本部を設置(8月3日 13:00)